

29年3月27日

宇部市長 様

宇部市ががんばる地域支援助成金実績報告書

団体名 恩田校区

コミュニティ推進協議会

代表者氏名 竹内俊文



平成28年（2016年）10月27日付け指令宇市活第246号に係る事業が次のとおり完了したので報告します。

事業名	恩田子どもサポーター養成塾
事業の完了年月日	平成29年3月19日
事業の総括について	講演を通して恩田の子どもたちの現状や学校の取り組みを知ることができ、グループ討議を通して課題を語り合い、学校交流で子どもたちとのふれあいの楽しさと意義を体験し、29年度の新しい取り組みである「子どもサポート事業」に発展できた。今後の恩田の方向性をはっきりと見出すことができた。
事業の達成度について	チラシ全戸配布によって恩田コミュニティの特徴である子どもを中心とした地域づくりを広くアピールでき、黄色のTシャツを着て活動することで、子どもサポートへの地域の熱意を周知できた。
助成事業等の効果について (期待した効果は得られたか)	① スタッフ会議を通して、主催者が子どもを中心とした地域づくりに一層熱心になり、新事業に発展した。 ② チラシ全戸配布で周知の努力をしたが、チラシを見ての参加者は少なかった。 ③ 黄色のTシャツ着用は主催者の連帯感を高め、子どもたちには見守られている安心を保護者と学校には地域の団結力を感じてもらうことができた。

<p>評価や反省を踏まえた今後の展望</p>	<p>① 恩田子どもサポート事業 29年度は恩田子どもサポート事業として、コミュニティ各構成団体の特色ある子どもサポートを推進し、その中で新たなサポーターを発掘する。また、子どもたちが抱えている課題を検討し、問題解決に向けて努力する。</p> <p>② Tシャツでアピール 養成塾参加者全員が継続した活動を望んでいるので、行事ごとに黄色のTシャツを着用して子どもサポーターであることをアピールし、周囲に関心を持ってもらい仲間を増やす。</p> <p>③ 参加者の拡大 地域行事の内容を検討し、若い保護者と子どもたちがもっと楽しめるものを考える。</p> <p>④ 学校交流 昼休みの学校交流では、全校児童を対象とした取り組みができて大人も子どもも楽しむことができたため、今後同様の取り組みを継続したい。5/31 チャレンジデーには2回目の学校交流を予定している。</p> <p>⑤ 朝学での読み語り活動 地域が学校に出向いて、子どもたちを育てるサポート活動として、29年度よりPTAと協力して朝学時間の読み語り活動を始める。</p> <p>⑥ 広報活動 コミュニティのホームページに加えて子ども委員会のフェイスブックを作成し、広く子どもサポートの取り組みを知ってもらおう。</p>
<p>助成金概算払受領額</p>	<p>200,000円</p>
<p>交付の確定を受けたい助成金の額</p>	<p>200,000円</p>

添付書類

助成事業決算書

帳簿（写）

その他事業の執行に必要な書類（写真等）